

# The quantitative analysis of the use of Ara h 6-specific IgE for predicting allergic reaction and anaphylaxis to peanut in Japanese children

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2021-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 佐藤, さくら メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002664">https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002664</a>

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2395 号

The quantitative analysis of the use of Ara h 6-specific IgE for predicting allergic reaction and anaphylaxis to peanut in Japanese children

日本人小児におけるピーナッツに対するアレルギー反応およびアナフィラキシー予測における Ara h 6 特異的 IgE の定量法の有用性

佐藤 さくら (さとう さくら)

博士 (医学)

#### 論文審査結果の要旨

本論文は、定量法による Ara h 6 特異的 IgE 抗体価を用いてピーナッツに対するアレルギー反応およびアナフィラキシーの誘発確率を始めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。本研究では、2013 年から 2018 年までに国立病院機構相模原病院で 0.5g のピーナッツ食物経口負荷試験を受けた後、ピーナッツ 3g の摂取による症状の有無を確認できた小児 273 名を後方視的に解析した。ピーナッツ、Ara h 2、Ara h 6 特異的 IgE 抗体価は ImmunoCAP 法を用いて測定した。解析対象の年齢中央値は 6.3 歳であった。273 名のうち 187 名 (68%) がピーナッツアレルギーと診断され、43 名 (16%) はアナフィラキシーを誘発していた。Ara h 6 特異的 IgE 抗体価の診断精度は曲線下面積 0.84 であった。Ara h 6 特異的 IgE 抗体価は、アレルギー反応 (調整オッズ比 3.74、 $p < 0.001$ ) およびアナフィラキシー (3.24、 $p < 0.001$ ) のリスクと有意な関連があった。これらの結果は Ara h 2 特異的 IgE 抗体価でも同様に認められた。ピーナッツに対するアレルギー反応が 95% の確率となる値は、Ara h 6 特異的 IgE 抗体価では 44.5kUA/L、Ara h 2 特異的 IgE 抗体価では 88.6kUA/L であった。アナフィラキシーにおける 95% の確率は算出できなかったが、50% の確率は 90.2kUA/L であった。これらの結果から、Ara h 6 特異的 IgE 抗体価はピーナッツに対するアレルギー反応およびアナフィラキシーの予測マーカーとして有用であったが、その有用性は Ara h 2 特異的 IgE 抗体価と同程度であったと結論付けた。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。